

編集後記

「検査と技術」の編集委員会では2008年の増刊号のテーマとして「生理検査」を取り上げました。本誌編集委員の永江学先生を中心に増刊号の編集委員会を設け、内容を検討していただきました。「生理検査」を取り上げた理由は、「生理検査」は臨床検査技師の業務として現在最も期待されている領域であること、「生理検査」に関する知識と技術の習得が今後の病院検査室の臨床検査技師にとって必須となることなどの点を考慮したからです。

生理検査には、心電図や血液ガス分析など緊急検査として重要な検査があり、これらの検査はすべての臨床検査技師が実施できるように訓練しておく必要があります。また、呼吸機能や脳波なども依頼される機会が多い検査です。最近の科学技術の進歩によって、超音波検査、MRI、MRA、CT、内視鏡検査などの画像検査が急速に発展し、医療を大きく進歩させてきました。わが国の医療機関はこれらの新しい画像検査法を積極的に導入しており、今後、臨床検査技師の新しい業務となる可能性が高い領域です。特に超音波検査は健康診断や日常診療で要望される機会の多い検査であり、既に臨床検査技師の重要な業務となっています。「生理検査」は患者と直接接する検査が多く、患者とのきめ細かな対応が求められます。

残念なことにわが国の多くの病院で検体検査の外注化が進んでおり、外注できない「生理検査」や「採血業務」に臨床検査技師を転用する病院が多くみられます。「生理検査」は臨床検査技師が最も患者の身近で行う検査であり、患者の状況を臨床検査技師が把握できる検査です。この点で患者の状況をほとんど把握できない検体検査とは異なります。「生理検査」は臨床検査技師が検査室から出て臨床の場で働くための出発点となる検査であると思います。本増刊号が診療の場で広く利用されることを期待します。

(菅野治重)

検査と技術

2008年9月15日発行(毎月1回1日発行)

本号特別定価 4,830 円(本体 4,600 円+税 5%)

年ぎめ予約購読料 19,450 円(送料弊社負担・増刊号を含む 13 冊)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優
☎113-8719
東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5713
ファクシミリ (03) 3815-7802/(03) 3815-7982
E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通 (03) 3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印刷 ㈱アイワード (011) 241-9341
広告申込 ㈱東広社 (03) 3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。

JCLS <㈱日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

(担当 山本・小藤・中田)